２０１５年　２月　発行　№６１

くさのみだより

今年もまた　歩んでいこう

秋　保　喜美子

正月休暇も過ぎ　一月五日からスタート
それぞれの職場で工夫された「互礼会」
和装でつつましく　新年のご挨拶
福を呼び込む「ひょっとこ踊り」の熱演
羊の絵馬壁掛けづくり　今年の抱負を発表
みんな健康で　笑顔ひろがる作業所に…
災害のない　平安な日々を送れますように…
仕事がいっぱい出来て給料が増えますように…
いろんな願いに向かってチャレンジ！

障害があっても「働きたい！」
住み慣れた街で　みんなと一緒に暮らしたい
長い年月の中で　一人ひとりが願いを語り
地域のみなさんの　心温かい支援に支えられ
この街に　福祉資源ができはじめて三十年
合併して広範囲にひろがる廿日市市
お年寄りも　子どもたちも　障害のある人も
誰もが安心して暮らせる福祉の街に…
様々な声が　福祉計画アンケートに寄せられる

国の政策は何故か社会保障の予算削減方向
毎日の暮らしが不安になることばかり
今年も始まった国会請願署名・募金活動
実態の中から出てくる要望項目は
国連障害者権利条約にも掲げられていること
あきらめない！　一歩一歩前に歩んでいこう！

どうなる!? 今後の
社会福祉法人制度

昨今、国において『社会福祉法人の在り方』についての議論がなされており、「民間（営利）企業との条件の同一化（イコールフィティング）が必要であり、課税をしていくべきだ。」とか「運営資産の内部留保（貯め込み）が多く、地域の福祉課題解決などに還元すべきだ。」などの論評がなされています。

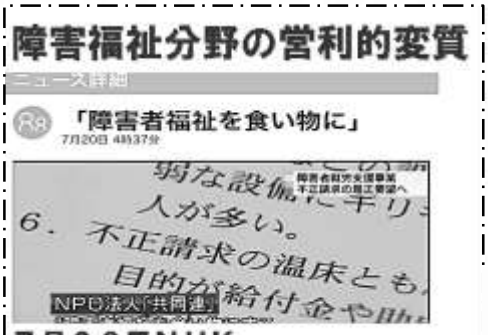
このことについて、皆さんもご一緒に考えていただければと思います。

社会福祉法人が作られた歴史と果たしてきた役割

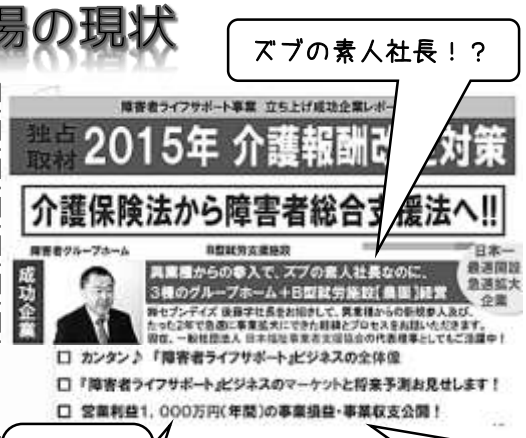
第二次世界大戦後の復興（戦災孤児や戦傷者支援など）に向け、行政だけでは解決（改善）できないことから、実施主体（責任）は行政、それを民間組織に委託する仕組みとして制度化されたのが、「社会福祉法人」の制度です。言い換えると、行政の役割（仕事）そのものと言えます。

民間（営利）企業の参入による福祉現場の現状

国の構造改革路線により、本来、非営利であるべき社会福祉事業（作業所など）に、営利企業が参入できるようになりました。それにより、障がいのある方への支援が「利潤追求」を目的として行われる実態が全国各地であいつぎ、中には不正請求や支援内容の問題（専門性の欠如）や人権侵害につながる事件も起こっています。このような悪徳企業に対しても、公金（税金）が支出されているのです。



ＮＨＫでの報道の様子。



ズブの素人社長！？

営業利益１，０００万円‥

「もうけ」を前面に打ち出したセミナー開催広告

※民間企業参入を一律に否定しているのではありません。株式会社などの経営形態を活用し、営利を目的とせず、真剣に福祉事業に取り組んでいる企業も存在しています。

内部留保について

当初、内部留保（貯め込み）とされた中身を見ると、事業運営に欠かすことのできない土地・建物、資産、施設建替えや大規模修繕に備えた積立金、当面の運転資金なども引っくるめた過大宣伝（報道）でした。これについては、世論の指摘を受け、現在は「再投下対象財源」と銘打って、その余裕財源で地域貢献すべきという動きになっています。

上記のような事業運営に必要な経費を差し引くと、多くの社会福祉法人の財源に余裕はありません。職員の給料は全産業の平均的水準に程遠いという実態が、新たな人材確保を困難にさせている現状があります。

２９年前、行政的支援が何もなかった当時、障がいのある人が「地域の中で当たり前に生きる権利」を保障するため、親や教育関係者、地域住民のみなさんなどによる涙ぐましい努力や支援が実を結び「くさのみ作業所」がスタートしました。

その後も、地域の福祉課題解決に向けた事業展開の積み重ねにより、今日の「社会福祉法人 くさのみ福祉会」があります。これまでと同じく、地域とのつながりを大切にし「福祉のまちづくり」に向け、くさのみ福祉会として本来の役割（障がい福祉の推進）を果たしながら、行政や地域のみなさんと力を合わせ、可能な地域貢献活動は積極的に行っていきたいと考えています。これからもご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

あたりまえに働き えらべるくらしを

～障害者権利条約を地域のすみずみに～

第３８次国会請願署名･募金運動が始まります

毎年12月に行う街頭署名活動。寒サニモ負ケズ･･頑張りました。

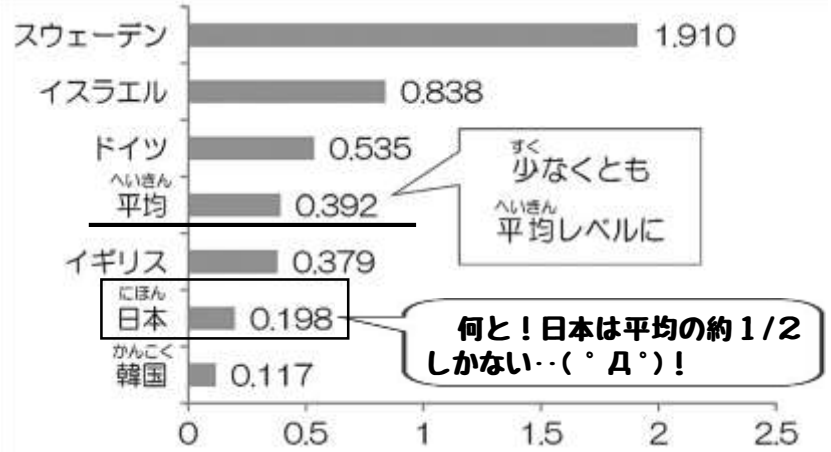
昨年１月、国内の「障害者差別解消法」制定などの法制度を整備した上で、我が国は国連の定める『障害者権利条約』を批准しました。この権利条約が、現況の法制度の推進や拡充、ひいては障がいのある人の生活を豊かにする指標となることを願ってやみません。

しかしながら、現状において障害のある人の所得保障の根幹である障害基礎年金は、引き上げを求める声に反し徐々に引き下げられ、ほぼ一生を親・きょうだいと同居しながら、介護を受けざるを得ない状況が続いています。また、介護保険優先原則により、６５歳になった途端に介護保険適用になり、新たな費用負担が生じるなど、他にも多くの課題が残されています。

そんな暗い現行制度に「待った！」をかけるため、みんなの願いを署名の一筆に込めて国に届ける事が、この署名・募金活動なのです。

現行法制度の矛盾点だけでなく、それぞれ思い描く将来の夢など、道行く人々に広くＰＲ

国内総生産に占める障がいのある人の地域生活を支える支援にかける予算割合



※出典：先進国がたくさん集まるＯＥＣＤのデータから2007年の比較（単位：％）

障害者権利条約の中で何度も強調されている「障害のない他の者との平等」を実現させ、障害があっても人間として当然の権利を保障し、生きていくための必要な支援を受けられるよう、当事者の声を反映させた「真」の制度改革を求め、運動を継続しながら世論を作っていく必要があります。

今回は、「障害者権利条約を地域のすみずみに」をスローガンに掲げ、今年も国会請願署名・募金活動を行います。たより添付の署名用紙の内容をご確認の上、一人でも多くの方のご協力をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

クリスマス会特集

今回は昨年行った、くさのみ福祉会各事業所での“クリスマス会”の様子を紹介します。毎年みなさんが楽しみにされている行事の一つです。各会場、笑顔で溢れた楽しい時間が流れました♪♪

くさのみ作業所

山口県を拠点に全国各地へ，ゆるゆるリサイタル，を展開される蔵田亜由美さん。写真のアルプホルンも温か～な音色で演奏してくださいました♪♪

くさのみ福祉会後援会役員の飯川さんから今年もクリスマスプレゼントを頂きました♪♪

演奏会やゲーム、ダンスなど盛りだくさんな内容でした♪もちろん料理やケーキも‥♡♡

原作業場

司会などもみんなで担当し、イントロクイズに合わせ歌って踊って楽しみました♪♪元盲導犬２頭もトナカイ役に扮し、届いたプレゼントにみんなも大喜びでした♡♡

ピクトハウス

夢工房

ワクワクしながら迎えた１２／２３。ピクトハウス＆夢工房合同の、クリスマス会を行いました☆

この日が来るまで、司会や出し物はもちろん、オードブル注文係・プレゼント選考係などの役割を、みんなで少しずつ分かち合いながらクリスマス会を企画してきました。

当日の会場で、色んなところで咲いた『笑顔の花』を、ほんの少しだけお届けします(*^▽^*)

素敵な演奏と歌に、会場が魅了されました♪ ゲストデュオの『フルーツバスケット』のお二人。

ピクトハウスの ぐりぐら劇団

とあるメンバーの「人形劇がしてみたい！」の一言から全てが始まった企画。お話は誰もが知ってる「ぐりとぐら」。

せっかくなら遠くからでも見えるようにと、人形や小道具も立体的で大きいものを、みんなが日々の作業の中でコツコツ手作りして仕上げました。そして物語の終盤で、ぐりとぐらが作ったケーキが、みんなが本当に食べるクリスマスケーキへと変わります(*'ω'*)

自薦（じせん）・他薦（たせん）で結成された有志の劇団員たち。本番のその堂々たるや、練習時間の短さを微塵（みじん）も感じさせません。さっすが～！

「ダメよ～♡ダメダメ」のコントからＡＫＢ４８のダンスまで、幅広いパフォーマンスをご披露。回を追うごとに洗練されていく余興コーナーに、観ているみんなもノッリノリ☆

ぐりぐら劇団から届いた、見事なスポンジケーキの土台を、生クリームやフルーツで各テーブルごとにデコレーション♬

クリームの分量や、トッピングの配置‥etc に自然に会話が弾みます☆

みんなで作り上げた『世界にたった１つのクリスマスケーキ』。その美味しさったら、もう‥(*ノωノ)

あいサポート企業・団体に認定されました！

昨年 12 月２日広島県立美術館地下１階ロビー（県民ギャラリー前）において、あいサポート企業・団体の認定式がおこなわれ、県副知事から、各団体に対して、立派な認定証が渡されました。

そして、くさのみ福祉会も、第２６０００２号の認定証をいただきました。

認定証授与式の様子

～あいサポート運動とは～

誰もが「多様な障がいの特性」「障がいのある方が困っていること」「障がいのある方への必要な配慮」などを理解して、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）をみなさんと一緒につくっていく運動です。

あび王国で使える言葉は、
「 あび あび 」のみです。

くさのみ福祉会では、昨年７月５日に開催した「法人全体職員会議（参加者１０６人）」において、あいサポート研修を受講しました。（講師「手をつなぐ育成会 あび隊」）

研修は、知的障がいのある人の疑似体験プログラム、保護者のみなさんの体験談で構成されており、受講した職員からは、「本当に勉強になった」等の感想が出されました。

あいサポート企業・団体など募集！

あいサポート運動は、鳥取県で誕生しました。広島県では、平成 23 年度から鳥取県と連携し、「あいサポート運動」に取り組んでいます。「あいサポート企業・団体」「あいサポーター（個人）」については、広島県ホームページをご覧ください。

～申し込み・お問い合わせ～

県健康福祉局　障害者支援課　自立・就労グループ
（電話　082−513-3157　Ｆａｘ　082−223-3611）

くさのみ福祉会後援会　更新、新規入会ありがとうございました。

平成26年9月～平成26年12月の間に手続きいただいた方々です。(敬称略　順不同)

≪団体会員≫

串戸商工振興会　　串戸七区町内会　　河本一区町内会　　桜尾二丁目町内会
四季が丘十一丁目町内会　　宗教法人 正覚院　　有限会社 創造建築設計社

≪個人会員≫

阿式 邦弘　有福 つぼみ　安藤 潔　飯田 元隆　石川 澄子　伊藤 徹也　射原 勝司
大原 学　岩﨑 直哉　内田 恭子　大地 利昭　大野 美穂　岡本 淳　奥新 光徳
小田 捷蔵　面 弘美　賀来 恵子　加治 秀典　兼桝 美枝子　川岡 敏久　河崎 勝也
川向 喜代志　北野 盛生　桐原 安弘　児島 澄江　小玉 雅子　小林 京子　森 妙子
佐伯 幸子　斉藤 孝子　斉藤 和久　斉藤 猷子　佐々木 照子　沢田 智恵美　洲澤 晋
塩田 知代　菅梅 素弘　高村 三七子　高橋 求　住田 雅夫　住田 優子　高都持 美和子
竹本 昭雄　友重 貞子　中原 美奈子　豊後 由馨　中田 安義　永藤 美津子　山根 敬
若宮 光司　渡辺 郁子　山本 キミ子　西本 浩子　能島 和子　野村 ミチエ　宮本 守
橋本 敏樹　久山 允子　広山 恵美子　山田 佳子　福山 浩之　前田 勝也　向 靖子
正木 シズミ　松尾 幸伸　松本 圭祐　三浦 千恵　山田 里美　三浦 宏幸　道上 節子
村上 英司　村本 義明　山田 郷子　山下 アヤミ

おすすめ!! 商品ご紹介

ピクトハウスの

手づくり ホワイトギフト

１００ 個限定販売!!
￥６００（税込）

お申込み〆切→３／１０（火）

※パッケージ及びお菓子の種類については変更になる場合があります。
※限定商品のため、ご注文の数量によっては応じることができない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。

ご注文とお問い合わせはピクトハウスまで。
☆ピクトハウス ☎（０８２９）３４－００７０
FAX（０８２９）３０－１１１８

３月のホワイトデイの時期に合わせたセット商品のご紹介です。内容については、毎回キッチンチームのメンバーさんが職員と一緒に考案しています。今回はどんなセット内容になるのかお楽しみに♡

☆ホワイトチョコと抹茶のブラウニー
☆ハートのクッキー　☆チョコスティック
3種のお菓子の詰め合せ(写真は前回の内容です)

ご寄附ありがとうございました

平成２６年１０月～平成２７年１月受付分（順不同・敬称略）

武田　満喜子　　坂本　博文　　山本　洋平　　広兼　洋一　　鶴原　富夫　　大元誠司
中瀬　浩次　　脇田　敏明　　匿名希望　　蓮教寺　仏教婦人会　　串戸六丁目町内会
安芸コスモスゾンタクラブ　　カトリック廿日市教会　愛とふれあいのバザー実行委員会
そば処　花や　　ムック家族会　　ピクトハウス家族会　　くさのみ作業所家族会

◆編　集　後　記◆

「一月往ぬる、二月逃げる、三月去る」昔の人は良く言ったものだと関心する今日この頃。本当に毎日があっという間…、いえいえ、１年があっという間です。そして、私がくさのみ福祉会の職員になってからの１５年もあっという間でした。

振り返ってみると、以前は、「福祉の制度は、毎年少しずつでも良くなっていく」と信じていました。

しかし、平成１８年頃から、制度が目まぐるしく変わり、福祉現場は大混乱の連続です。

でも、嘆いてばかりもいられません。

障がい者福祉の前進に向けて、当事者やご家族のみなさん、地域のみなさん、職員とで力を合わせて頑張っていきたいと思います。（N）

署名活動にご理解ご協力ください。

☆今号のたよりに同封してあります署名用紙の内容にご賛同いただければ、ご署名の上、直接くさのみ作業所かピクトハウスにご持参いただくか、郵送（申し訳ありませんが送料はご負担いただくようになります。）にて、活動にご協力いただければ幸いです。

お一人でも多くの方のお力添えをお待ちしています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします!!!!!

社会福祉法人　くさのみ福祉会

〒738-0033 広島県廿日市市串戸５丁目３－２２　TEL 0829-31-2800　FAX 0829-31-2900

通所事業部：くさのみ作業所・ピクトハウス・夢工房
生活事業部：ムックハウス・Ｌ＆Ｂ・ホープ・ハートインハウス
（グループホーム、ショートステイ）　さくら木荘・ＳＡＩさん家・串戸・佐方
地域生活支援部：発達支援教室くれよん阿品・くれよん地御前・くれよん串戸
広島西こども発達支援センターくれよん・相談支援事業所くさのみ
地域相談支援センターくれよん（廿日市市障がい福祉相談センターきらりあ）
廿日市特別支援学校放課後・いきいき対策事業

くさのみ福祉会後援会　TEL0829-31-2800　FAX0829-31-2900